

ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町2-10)

例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

令和2年10月13日(火) 第2926回 例会 (本年度第10回)

10月27日(火)	黒豚しゃぶしゃぶ例会 於:紅屋
11月10日(火)	通常例会・理事会
11月14日(土)	第2グループ I.M.&5 クラブ合同例会
11月17日(火)	振替休会

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

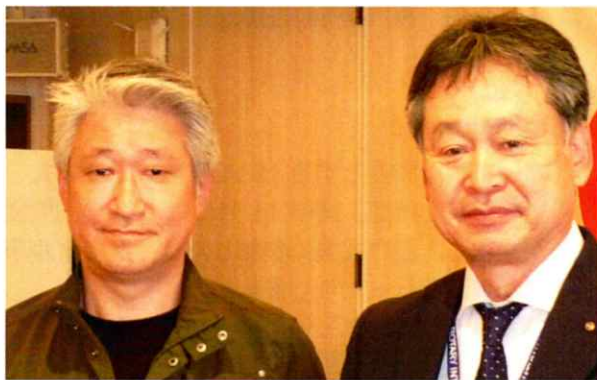


会長挨拶

会長/佐藤 詩郎

会長報告ですが、11日鶴岡市防災訓練に参加してきました。自分は電気自動車から介護ベットや灯籠器、携帯電話などに電力を供給するために参加しました。毎年参加している企業の方に聞いたら、例年イベント事、防災ヘリや子供が救急車に乗ったりするイベント事が大きかったが、今年は実践に近い形で訓練が行われていると言っておりました。自分も災害時にどんな形で避難をするか訓練ができて良いと思いました。よい体験をして良かったのでこれを活かしていきたいと思えます。また前回の鶴岡警察署長ともお会いしまして挨拶もさせていただきました。

今日は、ニューブランズウィック友好協会会長の佐藤公力様が仕事を抜けて来てくださっています。スピーチをどうぞよろしくお願い致します。



コロナ禍の中での姉妹都市 NB 市との交流

鶴岡・NB 友好協会会長 佐藤 公力氏

6月から、鶴岡・ニューブランズウィック (以下 NB) 市友好協会会長を務めさせていただいています。佐藤公力です。



6月10日、本市と米国 NB 市の姉妹都市盟約が 60 周年を迎えました。

今年 10 月に皆川市長を団長として NB 市を訪れ、盟約記念式典に出席する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。今までと同じ形の交流が難しい中、姉妹都市盟約 60 周年企画として新たな交流を考えました。

1、手作りマスクの送付

感染が拡大する NB 市に、市内各団体から寄せられた手作りマスクなど、計 230 枚送りました。

2、千羽鶴の送付

NB 市に向けてお見舞いと応援の気持ちを伝えるため、市内各団体、施設、学校のもと集まった 1,803 羽の千羽鶴をマスクと共に荘内神社で祈禱を受け、思いとともに送らせていただきました。

3、応援動画の製作

「ワンハート～ミライヘノアイコトバ～」

先ほど動画をご覧いただけたと思いますが、動画撮影や音楽が得意な若者が集まって、応援動画を製作。鶴岡市内で撮影し、多くの市民が出演した動画です。遠く離れた NB 市民の方にも応援メッセージが伝わるように英語の字幕を付け、YouTube チャンネルで公開されています。

新型コロナは日本だけでなく世界中の問題です。お互いに変な状況ですがコロナに負けず、姉妹都市同士の心と心の結びつきでともに乗り越えていき

出席報告

会員数	25名
出席	15名
出席率	62.51%
前々回確定出席率	83.34%

RI 会長 ホルガー・クナーク

地区ガバナー 齋藤 榮助

会長/佐藤詩郎

副会長/西川富美子

幹事/越智茂昭

会長エレクト/榎本久静子

会報委員会/小林健郎・真島吉也・本間 厚

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

ましようという思いで活動しています。

企画を進める中で一番うれしかったのは、20代30代の若者が趣旨に賛同し、集まってくれたことです。ここにいらっしゃる佐藤友行元会長をはじめとする先輩方に感謝し、これからは彼らの世代が中心となって交流を進め、60年にわたる交流の歴史を10年後、20年後へとつないでほしいです。

NB市はこんな所！

～健康福祉と学生のまち～

NB市は米国ニュージャージー州のほぼ中央、ニューヨーク市から南西に約50Km離れた所に位置します。建国以前の1681年に起源し、米国の中で最も古い市の一つです。

市内には2つの大学病院や米国最大規模の医科歯科大学、州立がんセンターなど医療機関が集まるほか、製薬会社ジョンソン&ジョンソンの本社と国際本部が置かれ、国内屈指の健康福祉都市となっています。また、国内最大規模の州立大学であるラトガース大学を中心に多くの公立・私立学校があり、人口の半数以上を学生が占める学園都市でもあります。

鶴岡市のみなさんへ！

～ジェームズ・ケイヒルNB市長～

今年、鶴岡・ニューブランズウィック姉妹都市盟約60周年を迎えたことをうれしく思います。

両市の絆は、1869年に高木三郎氏がラトガース大学で英語を学ぶためにNB市にお越しになったことを起源とし、150年以上となりました。

高木氏の足跡を学ぶ機会となっている学生の相互交流については、今もなお優先される取り組みとなっています。私たちの強い友情によるこの相互交流によって、子ども達の国際理解が深まり、さらにお互いの文化が尊重され信頼関係が築かれています。

鶴岡市のリーダーシップ及び鶴岡・NB友好協会とNB・鶴岡姉妹都市協会の努力に感謝しています。安全に過ごせる時期になり、姉妹都市60周年のお祝いができることを楽しみにしています。共に戦っていきましょう。

日米親善に貢献！

～庄内藩士 高木三郎～

高木三郎は、1841年に庄内藩士として江戸に生まれ、勝海舟の門に入り蘭学を学んだ。1869年に外務省留学生に選ばれ、語学を学ぶためNB市ラトガース大学に入学。卒業後は、サンフランシスコ副領事、ニューヨーク総領事など駐在外交官として活

躍し、郵便条約を締結させるなど日米親善に貢献した。この高木三郎とNB市のつながり、鶴岡ロータリークラブとNBロータリークラブの交流を契機とし、姉妹都市盟約が締結された。

交流のあゆみ！

☆1960年

姉妹都市盟約締結

ロータリークラブ国際会議に出席する小花盛雄鶴岡ロータリークラブ会長を介し、鶴岡市長がNB市長に友好都市としての交流希望の意思を伝えました。これをきっかけに6月10日、盟約が締結されました。

☆1982年

初の親善訪問

NB市長の招待により、鶴岡市長をはじめ9人が訪問。また、1984年にはNB市長ら一行6名が鶴岡市を訪れました。

☆1994年

学生相互交流の開始

鶴岡市の中学生8人が10日間にわたって学校訪問やホームステイ、NB市、ワシントンDCニューヨーク市等の見学を通して交流を深めました。その後、2001年の同時多発テロやイラク戦争により交流が見送られた時期もありましたが、現在まで、計11回訪問団を派遣しています。

☆2002年

義援金を送付

前年に米国で起きた同時多発テロ。復興と被災者支援に充ててもらうため、鶴岡市民から寄せられた約180万円の義援金をNB市へ送りました。

☆2010年

盟約50周年

鶴岡市長を団長とする19人がNB市を訪れ、盟約継続を確認。同年11月には9人の訪問団が来鶴し、記念式典に参加したり、ケイヒル市長が講演を行ったりしました。

委員会報告

出席委員会

◆メイクアップされた方

本間 厚君

スマイル

越智 茂昭君 佐藤さん、ありがとうございました。
武田 啓之君 佐藤会長ありがとうございました。
佐藤 友行君 公力君の活躍に期待致します。
菅原 成規君 佐藤公力会長、ありがとうございました。
榎本久静子君 佐藤公力さんのスピーチありがとうございました。久しぶりにお会いできるのを楽しみにしていました。